小学生担当支援員ミーティング報告書

日　程　2024年7月25日(木) 15時～16時　須賀公民館

出席者　鈴木ゆ、伊藤、中村、天羽、竹原、鈴木ま、内田、三谷　　記録：鈴木ま

（欠席： 鳥海、武次、平澤）＊欠席者は事前に意見を提出

現状と問題点

2・3 年生(5人)　　　鈴木裕理子

- 3年生の2人は、あまりやる気はなかったり、出席が少なかったりはするが、真面目にやっていので今後は集団でも大丈夫。 現在支援員一人でできている

4年生(5人)　　　　伊藤美千枝、 中村輝夫

- 自習できる生徒は、教室の後方で学習。
- 鳥海さんが、宿題が終わると飽きて喋りかけ、自由に振る舞い暴走してる生徒の対応をしている。 田中ゆうさん、小沼みおさんは、おとなしい。
- 生徒がまとまってやっているので、5年生についている形。

5年生(11人)　　　　天羽輝彦、 武次 秀、 平澤映二、 内田一彦

- 30分を越えるとダメな子。その日にやった事を見せようとしない。プロセスを軽視し、結果だけを求める。好きな教科しか学習しない。黒板に出て問題を解くのを喜ぶことがあった。何のために来ているのか、今日やることを自身で把握できていない。
- 支援員の問題には興味を持たない。支援員の用意したものや時間をうまく使えていないので残念。これが続くなら支援員は用がないのではないか。
- やる気のある子とない子を分けるのはどうか。
- 集中力が続がない、周りにひっぱられる子がいる。できる子ができない子に教える。将来困ることの自覚をもたせ、寺子屋に来たいという気持ちを持ち続けることが大事。
- 夏は教室もかわるので、具体的な策もまとまらなかった。天羽さんが、女子をみて、武次、平沢、内田さんで、男子をみていく。
- 内田さんは、まだ1度しか参加していないが目的意識を持ってやっている子が多いという印象を持った。

6年生(12人)　　　竹原廣子、 鈴木真理子

- はっきり担当の生徒を決めてみている。いつも遅刻してくる柚音さんだけが学習できていないが、支援員のやり方でどのグループも落ちついて学習できている。
- 学習に自信がないと、文字が薄かったり、間違えると答えを全部消してしまう。また宿題、教科書、筆記具などを持って来ないなど、共通の問題。
- 子ども自身に注意を促していくようにする。

以上